

# 則定 隆男 博士 年譜・著作目録

## 〈年 譜〉

1949（昭和24）年 神戸市に生まれる

### [学歴]

- 1964（昭和39）年3月 関西学院中学部卒業  
1964（昭和39）年4月 関西学院高等部入学  
1967（昭和42）年3月 関西学院高等部卒業  
1967（昭和42）年4月 関西学院大学経済学部入学  
1971（昭和46）年3月 関西学院大学経済学部卒業  
1971（昭和46）年4月 関西学院大学大学院文学研究科修士課程入学  
1973（昭和48）年3月 関西学院大学大学院文学研究科修士課程修了  
1994（平成6）年7月 博士（商学）（関西学院大学）

### [職歴]

- 1973（昭和48）年4月 兵庫県立神戸北高等学校教諭  
1977（昭和52）年3月 兵庫県立神戸北高等学校依願退職  
1977（昭和52）年4月 平安女学院短期大学専任講師  
1980（昭和55）年4月 平安女学院短期大学助教授  
1984（昭和59）年3月 平安女学院短期大学依願退職  
1984（昭和59）年4月 関西学院大学商学部専任講師  
1986（昭和61）年4月 関西学院大学商学部助教授  
1989（平成元）年10月 関西学院大学教務部委員（至1991年3月）  
1991（平成3）年4月 関西学院大学商学部学生副主任（至1992年3月）  
1992（平成4）年4月 関西学院大学教授（至現在）

- 関西学院大学商学部教務副主任（至1994年3月）
- 1994（平成6）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程前期課程講義担当
- 1995（平成7）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程前期課程指導教授  
（至現在）
- 1996（平成8）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程後期課程講義担当
- 1997（平成9）年4月 関西学院大学商学部教務主任（至2000年3月）
- 1998（平成10）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程後期課程指導教授  
（至現在）
- 2000（平成12）年4月 関西学院大学教務部長（至2002年3月）
- 2002（平成14）年4月 関西学院大学商学部長（至2004年3月）
- 2006（平成18）年4月 関西学院大学全学選出大学評議員、商学部学部長室  
委員（至2007年3月）
- 2007（平成19）年4月 関西学院大学全学選出大学評議員、商学部学部長室  
委員（至2008年3月）
- 2010（平成22）年4月 関西学院大学学部選出大学評議員（至2011年3月）
- 2011（平成23）年4月 関西学院大学学部選出大学評議員（至2012年3月）
- 2014（平成26）年4月 関西学院大学商学部学部長室委員（至2015年3月）
- 2015（平成27）年4月 関西学院大学商学部学部長室委員（至2016年3月）

[非常勤講師・客員研究員等の職歴]

- 1978（昭和53）年4月 関西学院大学商学部非常勤講師（至1984年3月）
- 1987（昭和62）年4月 甲南女子大学非常勤講師（至1995年3月）
- 1988（昭和63）年4月 関西女学院短期大学（現関西国際大学）非常勤講師  
（至1989年3月）
- 1995（平成7）年9月 英国 Bristol 大学客員研究員（至1996年3月）
- 1996（平成8）年4月 甲南女子大学非常勤講師（至2000年3月）
- 2004（平成16）年4月 英国 Bristol 大学客員研究員（至同年6月）
- 2008（平成20）年4月 オランダ Radboud University 客員研究員（至同年9  
月）

## [所属学会における主な役職]

- 1982（昭和57）年10月 日本商業英語学会庶務会計委員（至1988年9月）  
1988（昭和63）年10月 日本商業英語学会理事（至1991年9月）  
1991（平成3）年10月 日本商業英語学会常任理事（至1994年9月）  
1992（平成4）年1月 日本商業英語学会関西支部支部長補佐（支部長代行）  
（至1992年12月）  
1993（平成5）年1月 日本商業英語学会関西支部長（至1995年12月）  
1997（平成9）年10月 日本商業英語学会常任理事（至2000年9月）  
2000（平成12）年10月 日本商業英語学会理事長（至2003年9月）  
2001（平成13）年10月 国際商取引学会理事（至2007年9月）  
2006（平成18）年10月 国際ビジネスコミュニケーション学会（旧日本商業  
英語学会）理事（至2009年9月）  
2009（平成21）年10月 国際ビジネスコミュニケーション学会相談役（至現  
在）

## [日本学術会議における役職]

- 2003（平成15）年10月 日本学術会議商学研究連絡委員（至2005年10月）

## [日本学術振興会における役職]

- 2005（平成17）年1月 科学研究費専門委員会委員（至12月）  
2006（平成18）年1月 科学研究費専門委員会委員（至12月）

## [大学基準協会における役職]

- 2009（平成21）年4月 大学評価委員会委員（至2010年3月）

## [経営関連学会協議会における役職]

- 2006（平成18）年4月 経営関連学会協議会評議員（至2010年3月）

## [受賞]

- 1991（平成3年）年11月 公益財団法人三井物産貿易奨励会優秀賞受賞

## 〈著作目録〉

## —著 書—

『ビジネス英語を学ぶ・考える』	英宝社	1990年5月
『契約成立とレター・オブ・インテント～契約成立過程におけるコミュニケーション～』	東京布井出版	1990年9月
『レター・オブ・インテントの用途と書き方』	東京布井出版	1995年8月
『ビジネスの「コトバ学」』	日本経済新聞出版社	2008年8月
『買わされる「名付け」10の法則』	日本経済新聞出版社	2010年3月
『フレームを変えると、世界が変わる』	関西学院大学出版会	2014年12月

## —共 著—

『入門商業英語』（中村巳喜人共著）	英宝社	1982年2月
『国際オフィス・コミュニケーション～英語と実務～』（田中篤子・Bernard Susser 共著）	紀伊國屋書店	1993年1月
『国際取引における交渉の戦略と英語』（Byron Syler 共著）	東京布井出版	1995年11月
<i>Contract Formation and Letters of Intent</i> (M. Furmston & J. Poole 共著)	John Wiley & Sons	1997年1月

## —共 編 著—

『国際ビジネスコミュニケーション』（椿弘次・亀田尚己共編著）（第1章「コミュニケーションから見る国際ビジネス」執筆）	丸善	2010年3月
--	----	---------

## —分担執筆著—

「国際取引交渉における法的ルールとコミュニケーション戦略」（新堀聰編『国際商取引とリスクマネジメント』第1章）	同文館	2004年7月
“Japanese Mind-set behind Shakushijohgi” in Ayseli Usluata (Ed.), <i>Communication: Spanning Cultures, Change and Challenges</i>	Yeditepe University	2008年8月

## — 翻 訳 書 —

- 『実践グローバル交渉』（Jeswald W. Salacuse 著） 中央経済社 1996年1月  
（亀田尚己・福田靖共訳）

## — 注 釈 —

- International Business: Competing in the Global Marketplace (Charles W. L. Hill 著) 『グローバル市場における競争戦略』（藤澤武史・美野久志・安田聡子共編注） 英宝社 2009年1月

## — 論 文 —

- 「現代英語における動詞＋副詞の結合」 『時事英語学研究』 第16号 1977年9月
- 「現代英語における conversion」 『平安女学院短期大学紀要』 第8号 1978年2月
- “Ambiguity in Writing” 『平安女学院短期大学英学』 第10号 1978年3月
- 「英字新聞の見出しの工夫と問題点」 『平安女学院短期大学英学』 第11号 1979年3月
- 「『発送』の表現～商業英語における synonyms～」 『平安女学院短期大学紀要』 第10号 1980年3月
- 「Sales Letter において受手の態度が Message に及ぼす影響」 『日本商業英語学会研究年報』 第39回 1980年8月
- “Euphemism in Business: Past and Present” (英文) 『平安女学院短期大学英学』 第14号 1982年3月
- “Euphemism in Business” (英文) 『日本商業英語学会研究年報』 第41回 1982年7月
- 「ロイズ保険証券文言変遷の語学的研究 (Ⅰ)」 『商学論究』 第32巻第3号 1985年1月
- 「ロイズ保険証券文言変遷の語学的研究 (Ⅱ)」 『商学論究』 第32巻第4号 1985年2月
- 「ロイズ保険証券文言変遷の語学的研究の意義」 『日本商業英語学会研究年報』 第44回 1985年10月
- 「『書式の争い』に対処する米国統一商法典 2-207条の不明瞭性」 『商学論究』 第33巻第4号 1986年3月
- 「『書式の争い』の比較法的考察」 『商学論究』 第34巻第2号 1986年12月

- |  |   |          |
|--|---|----------|
| “The 1980 Vienna Convention on the International Sale of Goods against the Battle of Forms: In comparison with the Uniform Commercial Code” (英文) | Kwansei Gakuin University Annual Studies, Vol. XXXV | 1986年12月 |
| 「レター・オブ・インテントにおける法的拘束力否定の表現の方法と効力～英米の場合～」  | 『商学論究』第35巻第1号                                       | 1987年6月  |
| “Four Guidelines to Express the Intention to Exclude Legal Relations in Letter of Intent” (英文)   | 『日本商業英語学会研究年報』第46回                                  | 1987年10月 |
| 「レター・オブ・インテントにおける正式契約書への言及の効力～英米の場合～」  | 『商学論究』第35巻第4号                                       | 1988年3月  |
| 「レター・オブ・インテントにおける契約発生の停止条件～英米の場合～」   | 『商学論究』第36巻第1号                                       | 1988年6月  |
| “Legal Effect of ‘Subject to Contract’ Clause in Letter of Intent” (英文)  | 『日本商業英語学会研究年報』第47回                                  | 1988年10月 |
| 「申込の表現」  | 『商学論究』第37巻第1・2・3・4号合併号                              | 1989年10月 |
| “A Legal Effect of ‘Good Faith Negotiating’ Clause in Letter of Intent” (英文)   | 『日本商業英語学会研究年報』第48回                                  | 1989年11月 |
| 「ビジネス・コミュニケーション研究に対する批判と提言～国際契約コミュニケーション論の提唱～」   | 『日本商業英語学会研究年報』第51号                                  | 1992年10月 |
| 「伝統的商業英語研究に対する批判的考察と国際契約コミュニケーション論の提唱」   | 『商学論究』第41巻第1号                                       | 1993年6月  |
| 「国際契約交渉の発展段階別分析」   | 『商学論究』第41巻第3号                                       | 1994年3月  |
| 「レター・オブ・インテントの用途とドラフティング～予防的ドラフティングから戦略的ドラフティングへ～<一>」  | 『商学論究』第42巻第2号                                       | 1994年12月 |
| 「レター・オブ・インテントの用途とドラフティング～予防的ドラフティングから戦略的ドラフティングへ～<二>」  | 『商学論究』第42巻第3号                                       | 1995年1月  |
| 「レター・オブ・インテントの用途とドラフティング～予防的ドラフティングから戦略的ドラフティングへ～<三>」  | 『商学論究』第42巻第4号                                       | 1995年3月  |
| 「個別的研究の統合化」  | 『日本商業英語学会研究年報』第54号                                  | 1995年9月  |
| 「個別的研究の統合化によるビジネス・コミュニケーションの体系化」   | 『商学論究』第43巻第2・3・4号                                   | 1996年1月  |
| 「交渉における対人関係志向コミュニケーション」  | 『商学論究』第44巻第2号                                       | 1996年12月 |
| 「契約観と交渉観における文化的要因」   | 『商学論究』第45巻第2号                                       | 1997年12月 |

「誠実交渉義務への三つの対応」	『同志社商学』第49巻第4号	1998年2月
「交渉における他者志向的コミュニケーション vs 自己志向的コミュニケーション」	『日本商業英語学会研究年報』第57号	1998年9月
「交渉における操作的コミュニケーション」	『商学論究』第45巻第2号	1999年3月
「自己志向的コミュニケーションの戦略とそれへの対抗戦略」	『日本商業英語学会研究年報』第58号	1999年9月
「契約交渉過程における三つの法的義務」	『国際商取引学会年報』第3号	2001年7月
「アメリカの企業から見たADR」	『商学論究』第49巻第4号	2002年3月
「ADRの推進力としての問題解決的アプローチ」	『商学論究』第50巻第1・2号	2002年12月
「発信者としてのグローバル・マネジャーに対する信頼」	『商学論究』第54巻第1号	2006年6月
「電子商取引における価格誤表示に対する売主の防御策」	『国際商取引学会年報』第8号	2006年7月
「競争優位としての言語力～個人、企業、国の3つの次元」	『国際ビジネスコミュニケーション学会研究年報』第65号	2006年9月
“Relation-oriented Communication in Negotiation” (英文)	<i>Kwansei Gakuin University Social Sciences Review</i> , Vo. 11	2007年2月
“Linguistic Ability as a Competitive Advantage: The Three Dimensions of an Individual, a Company and a Nation” (英文)	<i>International Review of Business</i> , No. 9	2007年3月
「学際的研究の効用の例証」	『国際商取引学会年報』第9号	2007年7月
“Corporate Language Strategy”	『国際ビジネスコミュニケーション学会研究年報』第66号	2007年9月
“Language’s Influence on Thoughts and Action in Business”	『国際ビジネスコミュニケーション学会研究年報』第67号	2008年9月
「文化的キーワード『杓子定規』に見る日本人の契約観」	『青山経営論集』第45巻第2号	2010年9月
「英語の公用語化を考える」	『商学論究』第59巻第4号	2012年3月
「ビジネスにおけるフレーミング」	『商学論究』第60巻第1・2号	2012年12月

- |                                   |                             |         |
|-----------------------------------|-----------------------------|---------|
| 「ディズニーのフレーミング戦略～言語操作による従業員の意識改革～」 | 『国際ビジネスコミュニケーション学会研究年報』第72号 | 2013年9月 |
| 『「学習するビジネス英語」から『共に創り上げるビジネス英語』へ』  | 『同志社商学』第65巻第5号              | 2014年3月 |

## — 翻 訳 —

- |                                     |                   |         |
|-------------------------------------|-------------------|---------|
| 「新信用状統一規則」(Clive M. Schmitthoff 著述) | 『平安女学院短期大学英学』第16号 | 1984年3月 |
|-------------------------------------|-------------------|---------|

## — 書評、コラム、講演記録 —

- |                                      |                                |          |
|--------------------------------------|--------------------------------|----------|
| 「秋山武清著『国際ビジネス・コミュニケーション論』」           | 『青山経営論集』第34巻第4号                | 2000年3月  |
| 「亀田尚己著『国際ビジネスコミュニケーションの研究』」          | 『同志社商学』第55巻第4・5・6号             | 2004年3月  |
| 「レター・オブ・インテントの法的リスクと商的効用」            | 『リーガルマインド』(医薬品企業法務研究会) No. 239 | 2004年5月  |
| 「ビジネスのコトバを考える～イメージより中身吟味を～」          | 北海道新聞夕刊                        | 2008年11月 |
| 「亀田尚己・青柳由紀江・J. M. クリスチャンセン著『和製英語事典』」 | 『學鐙(丸善)』第111巻第2号               | 2014年6月  |

## — 学会におけるコメント、パネル・ディスカッション、シンポジウム —

- |  |                    |          |
|--|--------------------|----------|
| パネル・ディスカッション「私は商業英語教育のポイントをここに置く」                                      | 『日本商業英語学会研究年報』第49号 | 1990年10月 |
| シンポジウム「研究活動の方向性を考える～学会のアイデンティティーと研究のフレームワークを求めて」                       | 『日本商業英語学会研究年報』第61号 | 2002年9月  |
| 「西口博之報告『契約締結上の過失責任—レター・オブ・インテントの曖昧性に絡んで—』に対するコメント」                     | 『国際商取引学会年報』第5号     | 2003年9月  |
| パネル・ディスカッション「国際商取引におけるADRの新展開—理論的基盤—ADR思考様式：交渉論の視点から」                  | 『国際商取引学会年報』第5号     | 2003年9月  |
| 「亀田尚己報告『Bypassing Problems in Japanese-US Trade Relationship』に対するコメント」 | 『日本貿易学会年報』第41号     | 2004年3月  |

- 「亀田尚己報告『日・米・中国における利潤の概念について』に対するコメント」 『国際商取引学会年報』第8号 2006年7月
- Panel Discussion: “International Business Communication in English in Asia: The Road Ahead” 『国際ビジネスコミュニケーション学会研究年報』第66号 2007年9月

——セミナー、講演会活動、パネル・ディスカッション——

- 「国際契約交渉の実務研究」 総合教育企画セミナー 2000年1月
- 「覚書の拘束力と有利な書き方」 総合教育企画セミナー 2000年6月
- 「英文ビジネスレターの法的拘束力と有利な書き方」 アクセスブレイン・セミナー 2000年8月
- 「契約成立、不成立を操る国際取引のビジネス交渉戦略」 アクセスブレイン・セミナー 2000年11月
- 「国際ビジネスにおける覚書の法的拘束力と有利な書き方」 アクセスブレイン・セミナー 2001年5月
- パネル・ディスカッション「学生の主体的活動の開発に向けて～新入生向け少人数セミナー・基礎演習などのあり方～」 近畿地区大学教育研究会第70回研究協議会第1部会 2001年9月
- 「覚書の拘束力と有利な書き方」 総合教育企画セミナー 2002年6月
- 「契約交渉過程におけるコミュニケーション戦略」 同志社大学商学会特別講演会 2007年11月
- 「気づきからコンセプト創造へ～『名を付ける』から『名を創る』へ～」 社会経済生産性本部戦略マーケティング研究会 2009年3月
- 「ディベートの概要とその教育効果について」 兵庫県立西宮南高等学校教員研修会 2009年12月
- Panel Discussion: “The Spread of English in Outer and Expanding Circles: The Situations in the Philippines, Russia, Bulgaria, China and South Korea” 国際ビジネスコミュニケーション学会第70回記念大会 2010年10月
- 「研究者にとっての異文化間コミュニケーション～文化、コトバ、交渉を考える～」 田辺三菱製薬研修プログラム 2013年8、9月
- パネル・ディスカッション「ビジネスコミュニケーション研究のこれまでと今後の展開」 国際ビジネスコミュニケーション学会第74回全国大会 2014年10月